

人権教育推進大会



1月20日、東和総合センターで周防大島町人権教育推進大会が開催されました。オープニングは森野小学校全校児童による正調よさこいで始まり、続いて合唱を披露しました。その後式典では人権教育啓発作品の表彰と紹介などが行われました。



また記念講演では、落語家の立花家千橘さんが「笑いの中から心の幸せさがし」と題して少年時代の体験を語り、物事を前向きに考える大切さを伝えました。

給食を一緒に食べました

2月4日、屋代小学校の全校児童11人が椎木町長、平田教育長、町教育委員らと一緒に給食を楽しみました。

これは今年度で閉校となる屋代小学校の児童とのふれあいを目的に企画されたもので、児童は普段大勢の大人たちといっしょに給食を食べることががなく、会話を交えながら楽しいひと時を過ごしました。



▲椎木町長と一緒に給食を楽しむ児童

中高一貫教育だよ切

「ふれあいみかん収穫作業」

これは、連携中学校と高校の生徒が周防大島町内のみかん農家の収穫作業を手伝うことを通して、地域の産業を理解するとともに勤労の貴さを知り、職業観の確立をめざして、毎年この時期に行ってきました。今年からは大島中学校の生徒も参加し、12月15日(火)に実施しました。中高生が合同でグループを作り、島内の西から東の端まで、31か所に分かれて作業を行いました。生徒は、農家のミカン作りに対する情熱を肌で感じながら、一日の作業に取り組みました。



▲お互いに協力しながら収穫

「生徒の感想から」

○地元の農家の方で、中学生も顔見知りだったので、作業がしやすかった。農家の方からの「ありがとう」の言葉と一本の木を全部収穫した時は、達成感で嬉しかった。

○初めてのみかん収穫をして楽しかったけどかなり疲れた。お年寄りの方々はこれを毎日やっているんだと思ったら、とても大変なことだと感じた。

「農家の方々から」

○豊作のためたくさんのミカンになり、本当に助かりました。人数もちょうど良かった様に思います。来年もまたよろしくお願いします。ありがとうございました。

■問い合わせ 事務局

周防大島高等学校 ☎0820(77)1048